

# The Construction of Evaluation Methods regarding the Image of Shopping Streets in Core Cities of Japan

李, 芝妍

<https://doi.org/10.15017/1807040>

---

出版情報：九州大学, 2016, 博士（芸術工学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	李 芝妍			
論 文 名	中核都市における商店街イメージ評価方法の構築 The Construction of Evaluation Methods regarding the Image of Shopping Streets in Core Cities of Japan			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	森田 昌嗣
	副 査	九州大学	教授	清須美 匡洋
	副 査	九州大学	准教授	曾我部 春香

## 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

博士(芸術工学)の学位申請のために提出された本論文は、地域の価値を高め人々が共感できる地域らしさのある地域イメージを創り出すために、地域の特性を把握するイメージ評価に大きく影響を与える要因を導出し、商店街における地域イメージ評価方法を構築することと、地域らしさをデザインする際に活用できるイメージ評価モデルを提示することを研究の目的としている。本研究は、大きく3つの段階で調査研究を行い考察している。まず、地域イメージ評価に影響を与える要因を明確化するために、地域イメージ評価指標の構築から始め、既存都市の商店街を対象とする事例評価調査を行い、街路別の特徴を考察し商店街イメージ評価項目を探り出している。また、最近整備されたパブリックデザインに対する先行事例調査を行い、商店街イメージ評価項目の適合性に対する検証を行っている。段階別の研究の流れとしては、まず「地域イメージ評価」に関わる既往の文献や論文などの調査研究を行い、本研究の範囲や位置付けを明確にしている。基本となる地域イメージ評価指標の構築の際には、優れたデザインに対し賞を授与する制度で、長く存続しており、授与の対象も幅広く、まちづくりや景観にも行われている代表的なデザイン賞（グッドデザイン賞、都市景観大賞）の審査講評を基に選定している。ここでは、各デザイン賞の審査講評から地域イメージ評価指標の基礎となる評価部分をセンテンス抽出する手法で進めている。次に、抽出したセンテンスを分解や整理を行い、地域イメージ評価指標を選定している。選定した評価指標を項目別分類し、地域イメージ評価における評価の基本型を構築している。次に、この基本型を用いて事例評価調査を実施し、北部九州の3つの中核都市を対象とし、代表的な商店街の地域イメージ調査を行っている。九州北部中核都市の商店街での事例調査から地域イメージ評価項目の分析及び考察を行い、地域イメージ評価項目12区分別に3つの評価詳細項目、計36個の詳細項目を導いている。この評価項目は、地域イメージ調査の有効な基準となることを韓国の中核都市において検証している。そして地域の整備事業の評価に活用できるツールとして、計画設計対象範囲の設定、地域イメージ評価、デザイン方向設定、具体的デザイン、実行、運用管理・評価の6段階で構築された地域イメージ評価モデルの提案に結びつけている。論文は、研究の目的・背景、方法などの第1章、既往研究における本研究の位置づけを行った第2章、グッドデザイン賞等の講評から抽出整理した地域イメージ評価指標基本型を導出した第3章、第4章では前章で導いた地域イメージ評価指標を、ウェブによるアンケート調査、及び九州北部の中核3都市の商店街において地域イメージ評価指標を用いた事例調査から地域イメージ調査に影響を与える項目を明らかにし、第5章で地域イメージ評価

指標を構築し、評価指標を用いた地域イメージ評価モデルの提案に結びつけている。第6章は、研究のまとめと今後の課題と展望を示している。

本研究は、地域の競争力を高めるための手段として、商店街のイメージ形成とイメージ向上との関係に着目し、多くの人々が共感できる商店街イメージ形成のための商店街イメージ評価を行う際に、効果的な商店街イメージ評価する方法を構築すると共に、地域らしさをデザインする際に活用できる商店街イメージ評価モデルの提示を示した論文であると高く評価できる。

以上より、学位審査を厳正に実施した結果、本論文は博士（芸術工学）の学位授与に値するものと認める。